

市長と話そう！ 地域別タウンミーティング



日浦地区 タウンミーティングを開催

「農林環境と地域の活性化」と「暮らしの安全安心と教育・福祉」をテーマに10月31日、地域別タウンミーティングを日浦小学校で開催しました。

参加者からは、林業や農業での課題や災害時の安全安心に関する意見や要望がありました。

野志市長は、市のこれまでの取り組み状況を説明し、「皆さんが地区を大事にしていることがよく分かりました。市も『日浦は大事なんだ』という思いでこれからも臨んでいきます」と話しました。

意見・要望

- 森林環境譲与税を活用して林業を活性化してほしい
- 日浦から災害対策本部に情報を

934 934 3415
 閩道後温泉事務所 ☎ 921 0101・

道後温泉本館の保存修理工事を、多くの人に知っていただき、また、この工事を前向きな気持ちで、皆さんと一緒に乗り越えていきたいと考え、平成30年10月13日から、桶募金を開始しました。

観光客や地元の人など多くの方から支援いただき、10月15日に募金額が100万円を達成しました。

心から感謝申し上げます。頂いた募金は、保存修理工事費用などに使われます。

引き続き、市の宝「道後温泉本館」を皆さんと一緒に守り、次代に伝えるため、桶募金への協力をお願いします。



桶募金の募金額 100万円を達成

941 941 4408
 閩市社会福祉協議会 ☎ 941 3828・

10月29日、湯築小5年生76人が参加し、道後温泉別館 飛鳥乃湯泉で入浴マナー体験などが湯築地区社会福祉協議会主催で行われました。

児童はスタッフから公衆浴場でのマナーの説明を受け、2班に分かれて道後温泉周辺を歩いて巡りました。空の散歩道の足湯や道後温泉本館の保存修理工事について、市の職員から説明を受けたほか、第4分湯場では、源泉が勢いよく貯湯槽に落ちる様子を見学しました。

また道後温泉駅前では、道後温泉誇れるまちづくり推進協議会のメンバーと、観光客にみかんを配り、おもてなしを体験しました。

その後、飛鳥乃湯泉で、入浴を楽しみながら、マナーを体験しました。



飛鳥乃湯泉スタッフから説明を聞く児童

道後温泉別館 飛鳥乃湯泉 小学生が入浴マナー体験

「地域貢献を考えるきっかけに
なつて良かった」

参加者の意見や市長の話からたくさんのことを学べた

感想

確実に届ける機器を設置してほしい

分りやすい説明に満足

住民の「日浦を良くしたい」という思いから、意見がたくさんあがっていた。各意見への市長の分りやすい説明を聞くことができて良かった。

町長 正三さん (東川町)

町長と話そう！
地域別タウンミーティング課 ☎ 948 6333・FAX 934 2336



町長 正三さん (東川町)

本市は平成28年に、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の台湾のホストタウンに登録され、今年8月には、中華台北パラリンピック委員会、愛媛県、本市の三者で、「ホストタウン交流に係る覚書」を締結しました。

その覚書に基づき、10月27日～11月3日にかけて、台湾代表パラ柔道選手団が本市で合宿を行いました。

28日には、選手団が市役所を訪問。林函頼団長は「合宿中、愛媛県の選手や学生と交流する機会があり、楽しみにしている」と話し、野志市長は、「合宿で、皆さんがレベルアップし、来年の東京パラリンピック大会で活躍できるよう全力でサポートする」と語りました。



合宿では、市内の高校・大学柔道部の部活動へ参加したほか、県武道館で県内の高校・大学生との合同練習が行われました。

閩スポーツシティ推進課 ☎ 948 6226・FAX 934 1287

台湾代表 パラ柔道選手団が松山で合宿

ふるさと松山の発展を願う関東地区在住の松山出身者などで構成する松山愛郷会総会が10月17日、東京都で開催されました。

会には、市長をはじめ、地元選出の国会議員や会員、松山出身の若者が集う「松山愛郷会 Youth」20人を含む約270人が出席しました。

総会では、津野修会長が「松山と東京を結ぶ橋渡し役として、さらにふるさとの発展に尽力する」とあいさつ。続いて、野志市長が、道後温泉本館の保存修理工事の現状など、最近の市政を報告しました。

今年の8月に全国高校総体ボクシング競技大会で優勝し、かがやき松山大賞(12面に掲載)を受賞した、松本敬人さんは「モザンビークの選手は身体が柔らかく、自分も普段の練習相手とは違った良い経験ができていた」と話し、モザンビークのルーカス・シノイアコーチは「モザンビークと

今年8月に全国高校総体ボクシング競技大会で優勝し、かがやき松山大賞(12面に掲載)を受賞した、松本敬人さんは「モザンビークの選手は身体が柔らかく、自分も普段の練習相手とは違った良い経験ができていた」と話し、モザンビークのルーカス・シノイアコーチは「モザンビークと



練習風景 (写真左が松本さん)

モザンビーク共和国代表 ボクシング 選手団が松山で合宿

934 934 1287
 閩スポーツシティ推進課 ☎ 948 6226・FAX 934 1287

は良い意味で環境の違いがあり、大変良い経験になっている。新しい出会いは常に自分の宝になる。選手も試合では最善を尽くしたいと話している。」と話しました。

また、県総合運動公園陸上競技場などで陸上選手2人、伴走者1人が練習を行ったほか、県内高校生のおもてなしや学校交流会が行われ、相互理解を深めました。

その後、市制施行130周年の記念事業をクイズ形式で説明したほか、会場では道後温泉のPRコーナーや、市制施行130周年を記念し「故き松山を温める写真展」を特別出展しました。

また、まつやま農林水産物ブランドのコーナーなども設置され、和やかな雰囲気の中、出席者はそれぞれの近況報告を交わしながら、ふるさととの談議に花を咲かせました。

閩市東京事務所 ☎ 031 326210974・FAX 031 323916996



市長と愛郷会youthのメンバー

郷土と首都圏を結ぶ橋渡し「松山愛郷会」総会を開催